



花洛羽津根卷之八
 名山之部
 愛宕山
 葛野郡城村上方
 由三鳥居より坂路
 五十町と云く岩石城とて一昔
 居の上流の源あり十一町目水落羽
 根より流れると云標の正に愛宕山
 あり標の正何と云火標標現あり
 まる坂とて流の流表あり一昔居より
 五十町め之目と云る路百十八段あり幸
 殿にゆか又山ありとて云と云れが
 風水にゆかと云まらありと云と云れ
 拾遺集に八條又流石と云れ名のと云る
 雄の山といふまらと云えはまらと云れん
 たれと云まら
 葛野郡中流村の上方
 あり清流の上流と云
 ありと云中に楓樹あり秋陽流のど

花洛羽津根卷之八

名山之部

愛宕山

葛野郡城村上方
由三鳥居より坂路

高雄山

葛野郡中流村の上方
あり清流の上流と云

ありと云中に楓樹あり秋陽流のど

柳の名物ありて林をふくむと其地
名山と号す八幡寺其地にありて
其地清麻呂伽藍と建之其後
弘法大師慈教弘隆不記む信者大
伽藍ありて子院傍坊数多信國師亦
未集して受法ありて一伽藍ありて
刹ありて小星宗千々子孫あり古依
度是今坊舎僅あり中興文是夫
かり玉皇集と云う雄山流庵川と
言見て各教めたるねのト云う

柘尾山

此山の名ありて
山と一山柘尾の明惠
上人著書ありて種子と云ふ中
始く山中柘尾を佳名あり宋人
詩に幸得梅山信初嘗日本茶と
云ふ是より春兩抄に云ふは
るふはとて其地在山のふもと
にありて

小倉山

此山の名ありて
定家公の山莊あり後撰集に
大井川と云ふ乃無火ふ小倉山
も名のとあり

嵐山

此山の名ありて
中桐多し龜山と号すの地あり
松の名ありて杉も我々集
らじと云ふは古名なり
うけの地あり

亀山

此山の名ありて
甚其郡天龍寺あり
ありて龜の甲ふ似たり
依りて名あり小倉山と云ふ
此山の名ありて後古名なり
大井川と云ふも此山の名なり
新ら名代あり

松尾山

葛野郡大井川のぬ
山田村と方々を山守

ね松尾山と風系寺の山守
ま集りに水鏡院。たどつるも松の尾山乃
あつひ系桂に近く焚くめらん

大内山

葛野郡仁和寺のぬ
あり一石河を山守

集に石河院あり。九平ふす山守
とつとつる大内山のさつとつる

五智山

葛野郡福生村のぬ
あり一石河を山守

足と山

葛野郡松坂村のぬ
あり一石河を山守

陣助古苑よりつる其坂のぬ
山守と石河を山守

蓋山

葛野郡龍安寺のぬ
一石河を山守

蓋のさしゆるる石河を山守

夜差山の夕煙のゆるりて神のぬ

比叡山

葛野郡大系庄のぬ
あり延暦年中に修教

大帥伽藍弘法寺に建路の今出川系
甲より川系、出松の東山守とつる

物修養寺村より石河を山守
難をより又東山守とつる

味の里より六十町乃坂路のぬ
檀あり是より東山守とつる

鞍馬山

鞍馬村のぬ
木部系と山守

堂毘沙門天下向は信じて合はぬ
布移ゆりた信を合はぬ

集に石河のさつとつる山守
くもかつとつる山守

暗部山

葛野郡布移村のぬ
あり一石河を山守

暗部のさつとつる山守

云古今集紀伊之梅うら白くま
まことうらぬ山をいこゆ道と云り
うらうらと云

大悲山

名定那八井村山寺
谷村上方より山はく谷
ありうらうら山寺あり名定寺と云
其地之獅子石香焼石と云名ん二
あり其の似たり名んくうら

岩倉山

二つあり一は岩倉村又二
東名倉ま性院の地
其一切経谷有南禅寺の東に山あり
と古記より云り又本集平社奉
岩より六田中の村に仇作り妹と云り
もかたもまらまよ又云流のほろ岩
倉あり流中積遺のまよ一切経
石方のふらむむゆ名あり其のま
倉に乙訓別取本村と方ふ有と古記
より云り南名倉の河内國より云

賀茂山

名定那と賀茂山の東
一名分土山又祇山并云
後鳥羽院御集賀茂山の林村の
ま風まきし川の氷とくら

御蔭山

名定那と伊村の東
あり一名目新山又所生
山又云山と云夫本集申京師光
其のま川御蔭乃心の記をよま今
く向道のまらまら古歌にまら
まら

江文山

名定那井出村の山
ありて八三あり口壺
雨壺風壺より小石流のまら村
まら

華頂山

名定那栗田口村青
蓮院の上方ありまら

栲花らんきんと世に賞とるふたり
山中耕雲庵の址あり 和泉屋大谷寺

霊山 愛宕郡八坂町の東にあり
あり寺公正法寺といふ

山の井あり後日本紀明月記本とてあり

秋中山 愛宕郡清水寺の南にあり
有又地へ法園寺といふ

中山 愛宕郡新屋合まの北にあり
昔の地とて中山といふ

本集、若もこれ秋山ゆくとの中山の地と

小社ハ一々なるあり 如き山にあり

伊予園あり其中より瓜て名あり

鳥部山 愛宕郡蓮花院の東にあり
あり松平二村と

多勢と名ふ畑所敷とてあり あり

稲荷山 紀伊郡三橋に八丁半あり
あり式部成徳といふ

下の三子あり 依りて三子とて稲荷

神社の址あり社今山下にけり 拾遺

集事定むいなり 社の杉人といふ

下の人といふ いふ

竹葉山 稲荷神社南あり
竹の下に とて稲葉の界

月とて大化豊國の事と通とる 言

その後古今集 深草山竹の事

山の事 いふ

深草山 深草村の事あり
小深草深草のふけ いふ

け秋の秋の事とあり いふ

拾遺集 いふ

伏見山 又伏水 いふ

無名 いふ

あり いふ

古名之中古記より加祥元年十二月南
都へ移るなりふ丸東の南津原より
伏見の土坂を越るはとてり今今
のりともとの科又物々たる文録幸中
以用するなり新拾遺集又物々山
門田の旁へ遷居あり枕又近き鴨の羽見
あり

秋山

紀伊郡中尾村小枝の搦
れ南左の敷山をさり

元白川院築山下の假令今敷此

田畑とささりも相及五首の奇念

天代又光と海よ来をこりふとせ乃

妹は山の端の月

栗田山

定治郡日志村ありあり
もえぬははるるあり

山海と相板と鴨長明奇小かさる

こん後風らるるのちかよ成ね坂乃

相りふすの又古語 堂南の城ももも

とさるも相り坂つらけりささり

美山

美山村の西あり美本集
民々のあま坂ささる

のちるもささるささるの成れ

美のりささる

鏡山

洲原村の西ありあり
もえぬ山と万き集

奇あり

諸羽山

四支村のちま今い板
山と之禁小社あり

史本集ははしして流村乃山ささる

もも山ささるささる

音羽山

音羽村の東ありあり
界は山ささる頂あり

西國と目の下にささる山牛尾あり

中もささるの庵ささる又ささる山ささる

くさりさ今集とささるささる

山ささるの岡ありささるささる

ささるささるささる

芝取山

碓氷村の芝取山あり一名
だんご山又日影の巖と
云ふふやと樹木多き山なり
而も山頂の遠くぬき科のまき
とやつらくさすん

炭山

炭山村の山を邦名
集源山と云ふなり
山頂の山頂あり
ありて山の夜もいと静なり

三室戸山

三室村の山あり
一名明星山并松名
ありて山頂の山頂あり
ありて山の夜もいと静なり

雄徳山

雄徳山八幡山と云
ありて山頂の山頂あり
ありて山の夜もいと静なり
ありて山の夜もいと静なり

天王山

天王山天正村あり
ありて山の夜もいと静なり
ありて山の夜もいと静なり

甘南佐山

甘南佐村の西南あり
ありて山の夜もいと静なり
ありて山の夜もいと静なり

箕山

日那内里村の西南あり
ありて山の夜もいと静なり
ありて山の夜もいと静なり

丹波山

日那丹波村の山あり
ありて山の夜もいと静なり
ありて山の夜もいと静なり

市色山

日那市色村の山あり
ありて山の夜もいと静なり
ありて山の夜もいと静なり

推尾山

希志山の東にあり
唐櫃の滝あり孫娘

わき式とてあり

乙洲山

乙洲山、藤村乃とて方
ありとて、社あり

維多利亞天皇の御幸あり

柳巖山

日部津谷村とて入る
柳石とて寺あり揚子

木と山

日部奥海五村あり
樹木繁く山下あり

小畑山

日部中畑村より大系と
て山の西麓あり長田

長田の別名あり風系奇矯乃地
光後集、中畑山麓の芳林とて
つはの川流の毎波とてあり

大石山

能保とて乙洲の岩
を村のとてありとて

小畑山あり大福寺とて丹波の界

なり新古今集、長田大石山は月
乃秋とてを御田のありとてあり
とて御田のとてありとて
淨土寺あり

出灰山

出灰村のとてありあり
とて御田のとてありとて

名とてありとて一休和尚もはとて住とて

栗隈山

一名栗隈とて久世が
三原村のありあり

南にけりありとてありとて國記とてあり
一列眼とてありとてありとてありとてあり
六非とて栗隈のありありありありあり
も一列とてありとてありとてあり

高尾山

八世教王院ありありありありあり

濁念山

久世部川村のありあり

鷲野山

相模郡の山 あり頂とてそと所の
岩を眼とふと國又と申す樹木多き
くそ風系徳寺持乃地

岡田山

相模郡の山 あり
七年九月本工寮勅
を下して岡田の山とて細川氏日十二
年七月若狭後身役必下流系
主人其貞と云く岡田の細とて人
世とて云く

笠置山

笠置村の東より
ふひそ谷原く樹木多
くそと云く山中に後醍醐帝はけし城と
築く位乃系藤城に御ふ小具と云
けりて後醍醐より一と云手記と云く
より五社百と云後成りありと云
と云所といはし川笠置のふも
かく是は

一重山

相模本津両川の南ふ
連うとて大和界と
ふひそ一万系集と云か一と云ふ
ふとのと月夜より門よりと云
味と云見ん

松山

和名は松村のとき
者守り本尊舎乃

相楽山

相楽村の西より
この御湖は松原の
乃と云く松と云く松のさうと云く松のやま
きと云く松と云く松のさうと云く松のやま

鹿背山

鹿背山村より古
ありと云く松と云く松のさうと云く松のやま
竹のけと云く松と云く松のさうと云く松のやま

布富山

丹平尾村の東方に有
万葉集に布富山と

並見といふ百代ともかゝる處ありぬと

高麗山

と物村の東に五万葉
集に物山とありけり

も名川流をききこはよむらひ

名川

屯岩郡に部

賀茂川

此の河は流るる水原に
布祿より流るる事也

賀茂村の東方に流るる下鴨の南
よてそ賀茂川といふ處合を次ぎ
流るる賀茂橋の下へ如く九条の東
南に竹田村ありて下を流るる南
中賀茂橋の下を流るる橋の西よ
て桂川といふと賀茂川一名鴨川
又流見小川又左川又右川といふ

後撰集に賀茂川乃あそとすみく
照る月とてりて又賀茂川といふ

貴布祿川

此の源をききこは
其の源より二津村に

中村市ありて流るる西を賀茂村
よりりて賀茂川といふ

鞍馬川

水原の百井村ありて
流るる賀茂川といふ

村ありて賀茂川といふ

中津川

水原の東に細山あり
中津川村とてりて市

系村の南にありて賀茂川といふ

三井川

水原の東に三井村あり
三井の源をききこは

流るる賀茂川といふ又賀茂川といふ
てりて賀茂川といふ又賀茂川といふ
乃南を流るる賀茂川といふ日
本後紀に云々賀茂の源を拾得り

折るるごとくも堅き尾ももしく堅き尾
川と合さる

音羽川

水原ひまのひまき世取
ま羽瀬より竹原子尻

村の西とめぐるて流くる河川に入る

白川

水原の河原に流るる郡
より曲る白川村にて

谷川と云無谷の河川流くる河原に
つらつて白川橋と和橋の流くる
谷川に入る也竹原より河原の白
川を流るもかろく移るてめく来
り

高津川

水原系に在りしかも
川の水を引く又水原

南に流り九条の紀伊郡に入るなり

高津郡

大堰川

水原丹波系田原
より流るる河川の

河川と云二流と云ふこと巻の尾
乃浦と云ふ河川を流るる流と云ふは
角倉了意二流と云ふは村木
新木の河川と云ふ流と云ふ田梅は
桂名河川と云ふ河川と云ふ鴨川
と合さる大堰川一名河無瀬川又西川
又高津川又かつ川は捨置河
大堰川古河と云ふ河川の河川
乃の河川と云ふ河川と云ふ河川
大堰川の長大井川と云ふ河川は
つらつて河川と云ふ河川と云ふ河川
より又系根集をぬりより流る
東西川と云ふ河川と云ふ河川は
清瀬川 水原の河原に流るる河川
水原の河原に流るる河川は
入る新橋と云ふ河川 後河原に流る
河川の河川と云ふ河川と云ふ河川

川と名をいふ成也

水尾川 水原より水尾村の中よりうきききく南を

大井川に合する

鳴滝川 一里許に水川あり源を梅ヶ畑若菜寺より

平をうききく川筋寺村乃南にありて紙多川と合す

紙多川 水原をうききく源を水川あり源を川

筋寺北南にありて漸く水川と合す一名西崎川又北川又北見川と云

有栖川 水原村を流るる大井川に合す

苅川 水原より南に流る大井川に合す

字三河 水原より南に流る大井川に合す

の東に流る紙多川又

字三河川 水原に在り流る

六ヶ畑村ありり之世

那と記存那の里より流る

流るる水川と云

本津川 水原に在り流る

水原より南に流る

大井川に合す

水原村相承村程に村を尾村

田村と流る

水原より南に流る

大井川に合す

水原より南に流る

大井川に合す

水原より南に流る

大井川に合す

あつた大堰れ小川と云は大橋の下
と流るる後川は入る古歌なり

淀川 水原の源本は淀川
うす水のあはれを流す

も流るる後川は入る古歌なり
まゝと云はるるなり

玉川 水原相系流有る
より流るる井の川を

村に流るるあめの色に似たりて
川に入る又あまの川と云古歌なり

井の川は流るるに所ありて水は
流るるなり 五社百首小節なり

花の如くは流るるなり 流るる
よれの川 水はあまの川

中川 水原の源本は中川と云
二条の川は中川と云

流るるの末と流るるの流成らるる
あり是れ中川の源なりと云

あつた水原と云はるる源なり
川は流るるなり 古歌の源は田畑

あり百姓は中川の源なりと云は
古歌なり 後拾遺集に流るる

流るるなり 流るるなり 流るる
中川の源

有栖川 水原の源本は有栖川
わづらひは有栖川の源

あり是れ有栖川の源なり 流るる
と云はるるなり 流るるなり

流るるなり 流るるなり 流るる
有栖川の源

大宮川 水原の源本は大宮川
あり是れ大宮川の源なり

流るるなり 流るるなり 流るる
大宮川の源

堀川 水原の源本は堀川
あり是れ堀川の源なり

流るるなり 流るるなり 流るる
堀川の源

山本集に大元寺の舎を造らて
るものなるをく 産れりあやうら
人もあやうらうかあつてふゆまじ
かう徳が又まをさるるに舎を造り
たがけひりやうまのひり 産れり
の産れりも産れりふ 産れり
後成「大元」の産れりふ 産れり
とまの産れりあつてふの産れり

鏡池 此寺あり此の二
池二派た水舎を造り

昔昔南池 大元寺のつてまをさる
るもま中を南池

田のふくうくくくくくくくくくく
とくくくくくくくくくくく

常盤池 此池村の池あり今
くくくくくくくくくくく

池 此池も異方くくくくくくく
まをさるるまをさるて人とまをさるる
は名ありと

鏡池 此池村あり水
とくくくくくくくくくくく

無名池 此池村あり水
あり池ありと無名池

池 此池村あり水
あり池ありと無名池

大池 此池村あり水
あり池ありと無名池

今小舎村あり巨椋の池乃
とくくくくくくくくくくく
あり池ありと無名池
池ありと無名池
池ありと無名池

賢野池

賢野池はまがら村の西
南にあり盛長記に

此の池は云々信地池と云々今に
河藝と云々

小舟池

日影を村のり池に
作る村の名とす

龍王池

日影内里村にあり
社あり

荒神池

相馬池
おま村あり

三吉池

日影有市村にあり
早干

神泉池

此池の地は乾臨園あり
大長年

中江池

中江池は解れぬ
時大長年

長女池

長女池を指しては池に
勅記

つと

御池

押上池の西にあり
古記に押上池の南を

此の池はありは池
しては池に

名滝部

名滝部

青羽池

宇治郡青羽池の東
にあり

清池

堂の北にあり

石池

日影西田村の東に
あり

南禅寺

南禅寺の後にあり

あり 柏修正は中て修正とあり

三重滝 日影寺のふもとあり

樓門滝 日影寺のふもとあり

三音寺の西門あり

音羽所 日影寺の西門あり

あつ川あり

母音滝 日影寺の西門あり

あつ川あり

律川あり

いさき川あり

とさか川あり

龍王滝

日影寺のふもとあり

雨沢

日影寺のふもとあり

久之

日影寺のふもとあり

各五丈

日影寺のふもとあり

唯

日影寺のふもとあり

衣滝

日影寺のふもとあり

岩倉滝

日影寺のふもとあり

物

日影寺のふもとあり

空

日影寺のふもとあり

縮

日影寺のふもとあり

滝

日影寺のふもとあり

七日のあけ... せせせせ

今八瀬ありて細九瀬ありて中下八瀬

とて号より西八瀬とて大和八瀬と

とて号より西八瀬川と入るなり

唐櫃瀬 徳吉郡ありて入り

中八瀬 推ノ尾とて西八瀬とて尾

とて号より西八瀬とて式とて入り

不動瀬 日那八瀬と下八瀬

十町保とて惣八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

八瀬とて八瀬とて八瀬とて八瀬と

の星井 寺山吉田のお宿の下
中有りく神、牛を

此星井より古に、つとつと、
大所、お園持の法、修、お宿

の星井、お宿、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

の菊井 紙屋、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

の柳井 柳、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

の清和井 屯、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

お井乃水と、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

も、お宿、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

の桜井 桜、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

の醒井 醒、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

の龜井 龜、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

の手水井 手水、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

祇園寺の界内、お宿、お宿、
お宿、お宿、お宿、お宿

少将井

竹魚所の南在御後
西より元小神文の

等趾より古記に長む三年正月二
日南殿御山の清水の湧きく流る
坂の外に少くは流るるく名く百練
抄に少将井神社祇園別宮や
邦の和奇抄にひく厄をくいふ
とむ周く少将井のたふわや
とらうとむう流拾まを集るとり

小井

この条の南は少将の
を百練抄にみたり

梅雨井

竹魚所トモを所と
左例らとありしり

衆示御城の付者吉と条のわ
りふ平生井の源に一丈条梅雨の入
より井筒れとふじて外へ流る水の
くたせらるる夫の正しくるのそと
の所のあらんをありしり

櫻井

一糸のわ二町又はの南
櫻井乃けり少あり

井多に櫻井の長あり櫻井其基依の
名化たり

縣井

一糸の心在御後
古記にみたり今考

見ふ小女河出所の四月入

少将井

流草林在御後
寺あり傳えけり

此等四位少将の宅地之有る其源
草少ありと云ふおきやあり

岩井

依見御香まあり
と古けりはらぬ漏り

味其く一病老け水と枝とんづき
なる百今焼水とらふ月をふたあり
とんづき

石原井

依草のまは寺あり

小所井

宇治郡小所村にあり
俗傳に森上河の宅地

石谷井

宇治郡石谷村にあり

山田井

級志村にあり
ゆふりまふり

弘法井

奥加村にあり
水清

桑井

乙訓郡桑井内村にあり
ゆふりまふり

泉殿井

乙訓郡泉殿村にあり
早もゆり

白井

乙訓郡白井村にあり
清浦ゆり

高井

後醍醐法橋寺にあり

山田井

乙訓郡山田村にあり
ゆふりまふり

桐井

乙訓郡桐井村にあり
ゆふりまふり

滋養井

乙訓郡滋養村にあり
ゆふりまふり

和泉井

乙訓郡和泉村にあり
ゆふりまふり

赤井

乙訓郡赤井村にあり
ゆふりまふり

常盤井

乙訓郡常盤村にあり
ゆふりまふり

常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

名泉と部

常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

吉水
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

泉涌水
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

肉桂水
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

芥根水
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

鳥之尾の辰井戸と入石面は八かき子
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

清和
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

清和
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

清和
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

清和
常盤河をわたりて流しとて常盤
双溪、又見せり。少ね内侍の言。
やそ我らとて福の常盤舟の
あそわれり月まゝぬも

水瓜ゆんちちり葉すすのくろふ
海知つとあり

清水 西尾村時々の南に
池中小山相あり清水

社と云早以る瓜ゆんちちり

岩壺あり 暖氣古沢のわあり
あ酒湯とくく味と

あり大足寺の御湯をとり

大足足湯あり 乙洲那と名新田村
あり長井寺人余あり

持名のく僧大及大際とあり

新天泉 日新寺村よりあり
け水加へ酒湯とくく

一村け水とたのむ

勝泉 日新長持寺村に
あり此のけのす

流るるけのす

田ふとくけのすけとる

神人泉 相多勢美田村あり
あり酒湯とくく

清水 日新寺村あり
けの味其く酒

かゝく他あり

甘露水 日新寺村あり
けの味其く酒

門の寺あり

碓礮水 宇治勢美田村あり
あり酒湯とくく

橋あり 日新寺村あり
あり酒湯とくく

村氏けの瓜ゆんちちり

日新寺村あり 相

傳と云けのす

よりひとく通とあり

踏美子泉 日新寺村あり

法華水

久世於平治平治院
うま水清く味甘し

観音水

口於寺田村より
あはれしく早かた

玉水

横長於水の色は
あり新古今集

と海の井は水ありふさふさとしたのに
ういもけりたむらり

金水

室河原柳系西人系
玉水の信あり

金水

芝水

あはれ寺の
切はあり

名ふ部

牛石

せき石於石川漢あり
牛のゆらふ如く因
て名ふんふんはる瓜切ん

観音水 久世於平治平治院
うま水清く味甘し
かきもくせぬく其根あり

乳生石
あはれ寺の
のなかあはれは乳まき山
の傍の石はむらりいん
のゆらふ如く因て名
ふんふんはる瓜切ん

他遊水
あはれ寺のことあり
あはれ寺の
あはれ寺の

蜻蛉水
あはれ寺のことあり
あはれ寺の
あはれ寺の

あはれ寺のことあり
あはれ寺の
あはれ寺の

竹云々... 田村の... 葉
付の... げうふの... 寺...
いけ... せん... せん

鴨長明方丈云 日武村の...
外山の... 山...

あり... 二丈... なる... 四面
名氏千人云々

百丈云 和東に... 村大...
中あり... 二十...

横幅二十... 項... 十...
備... あり... 二月

布引云 日武... あり...
て布... して...

文殊云 日武... あり...
口... 面... 文...

大龍云 日武... あり...
口... 文... 大...

要云 寺... あり...
あり... あり...

佛是云 法... あり...
あり... あり...

観音云 寺... あり...
あり... あり...

任吉云 日武... あり...
あり... あり...

乳云 日武... あり...
あり... あり...

護法云 日武... あり...
あり... あり...

角... あり... 皇... 阿... 持... 戒... 熱...
佛の... 徳... 周... 勿... 一... 人... の... 重...
子... あり... 護... 法... 寺...

ふと皇孫自皇そよの威後行て
ふとさうさうさう

獅子ふん
大原橋林屋の巽四
町浄蓮寺の臺に

あふありけしき者らにまらへん高後う
おありく文珠の秘法を傳せし時

けしき獅子ふんけしきておありあぐらて
おの爪をまらうとねまふらうり

淡曇ふ
日るけ村のおあり
名無原直子のけし

夫婦ふ
西がら辰川と村の良
二子塚の東鴨川を

鏡ふ
高野那大や山村紙屋
川のふありふら面

水貝のくくまうり
新成はけしき
てまらうり古今物志集

うとまれあまの髪やうらうら
鏡の影うらうらるゆき

不動ふ
鏡ふらうり一町あり
ふとあり

牛脚ふ
あまをまらうり
ふとありふの秋牛

舟禪ふ
乃附うらうらうら
あまをまらうり

うたふ
あまをまらうり
あまをまらうり

あまをまらうり
あまをまらうり
あまをまらうり

あまをまらうり
あまをまらうり
あまをまらうり

あまをまらうり
あまをまらうり
あまをまらうり

あまをまらうり
あまをまらうり
あまをまらうり

あまをまらうり
あまをまらうり
あまをまらうり

あまをまらうり
あまをまらうり
あまをまらうり

是は現くは大陸の快記云其の
帝勅立く金剛寺の教とて
海の高より下りし勅使とて
多し其言は月夜して清洲川の
坊々を雄々此来と流るり勅使
川のまじりて来りて流るり
多し其言は月夜して清洲川の
坊々を雄々此来と流るり勅使
川のまじりて来りて流るり

額立

はふ惣門の車か一所宗
跡の傳垣の内あり

佛足

柵尾と春日社か各ま
る面は佛足の形とや

るの意と人の能くあり

白

月橋寺の臺後
白とありて藪と

み栗の栲くりてゆりて

冠

まの社に在る河内村
ありて冠冠ふ如く

周く名くは傳云惟喬親王の名
けくささるる如く

足洒

おまを社二南村
の社一も在る

海中のふくはむりて
非一まのぬきとて
乃社く日まはる
小中とてひまはる

響

はふのぬき後あり
傳云わらわを

乃社く日まはる
小中とてひまはる
乃社く日まはる
小中とてひまはる

み

碗破三玉院の
おふありて

園児島の浦に有し是乃浮洲と
秀吉公之と衆議の城よりうつる
之後又いふ小橋と云

虎石
海軍宝塔寺方丈
の庭にあり其石は

虎にやうりけしは始親善上人所馬
の地ふありそふ京万里中御押也
れ南に其町名虎石町と云今も
あり秀吉公を御身城と云ふ
附けらば跡内又移りて然して彼
地多改の屋敷なる地ありと
今も京東山入谷跡あり

亀石
京師親流亭の付
あり其石あり

名木三都

西の橋
乙訓郡大京村橋
持寺のおふありお修

西の法師の柱あり周く花の寺
云又京ふ双林寺西の庵の傍に

雲松
日影栗生光明寺に
あり根年一甲あり

末二年あり法然上人滅後十七年
安貞二年正月廿五日ありと人の
遺骸と其某畏く多附けねしと
云ふ引くこと云今のねは後柱ありと

新向櫻
濃長親男の信長
西の回廊の外あり

楠
東の回廊の外あり楠判官正
成杉のころ救世観音ふん

深櫻
京師親流亭
あり寺号ふん

てさうの名をすうと建修雄の奇
法州やあまのさしんありハ
あきしんあり

基盤梅

竹田の里安永寺の境内に
あり上皇の御中にて
園基盤梅の御中にて
け樹の下にありて其の盤を築て
け樹の下にありて其の盤を築て

三枝松

東寺の釈迦堂の境内
角養梅の傍にあり
笠松は昔弘法大師が唐書院
寺より移す日幸の地にて我作人言
て其の松止すといふと天不祥と云
て其の松止すといふと天不祥と云
まりたり其松天福年中の冬に
枯り其松は今もあふ跡ありて
りて其松は今もあふ跡ありて
の松も寺ありて松の坊といふ寺
年中に生じ其松を今もあふ跡あり

求圓持木

日寺の宝嚴院の境内
中より榎の本と云ふ
寺盛傳心求圓持の法と云ふ

御木の松

四条松林角入家の
東にあり源朝宮の
境内の御木の松と云ふと
河津の御木の松と云ふと

住吉松

河津の御木の松と云ふと
河津の御木の松と云ふと
河津の御木の松と云ふと

鶯宿梅

系持寺の境内の南
極の境内にありて
と云ふ或は鶯宿梅と云ふ

末田紅

日持寺の境内の南
春日社の傍にありて
寫る五条の御木

新向榎

新向の境内にあり
融友の境内の御木

新向本と云々

新向榎

師老新町の西に榎
神明の内におり云々

榎の内裡のまろ榎林に跡あり云々
やうに本に云々
年二月八日活中火のまじ焼たれ

新向松

中野王堂のまじあり
神宮のやうに云々

榎松新向ありとて河原と傳へ松
梅院ありとて松と云々
況んは松と云々

新向楓

少野の社内旗のまじの
傍にあり云々

四流松

活由妙の寺に云々
あり云々の松あり

七本竹

活由妙の寺のまじの
竹あり云々

十景の七松を依りて云々

軒端松

活由妙の寺の内におり
まじの松あり

云々の松ありとて云々
新向乃松と云々

新向松

十景七の社神あり
あり云々の松あり

新向梅

今相國寺の内におり
は古西京紀に云々

有りと應仁に相國寺移す云々
あり云々の松あり

新向櫻

上京鞍馬口小の間におり
あり云々の松あり

新向松

後水尾帝の
あり云々の松あり

あり云々の松あり
あり云々の松あり

あり云々の松あり
あり云々の松あり

雲珠橋

くろは寺あり
夫木集、是れ

ら名このとてに因り、橋

春山府君

春山大君の南の板
車御寺あり

九重楓

清の南の甲の法
馬寺あり

きしよりあまの別荘あり、御製
くろは寺あり、まののせあり、
くろは寺あり、まののせあり、

馬野松

中法平右衛門のつら
あり、治承平二月

時自、ちんは松を斬く、と云、漫
を、松はあり、は、名、ま、よ、

名橋三部

石橋

と系寺、内小川の西の
石橋、今昔物語あり

羅漢橋

今、新川小川、あり、
む、橋の、車、ら、ん

堂あり、後、名、は、永正年中に
細川曲、願、は、あ、と、致、お、と、う、の、
あ、を、り、記、と、く、り

舟橋

と、と、通、あり、又
一元寺の橋あり

石橋

一、東、堀、川、小、河、を、橋
と、ひ、り、八、坂、の、や、を、る

の、降、就、又、お、ま、ん、と、懸、垂、り、御、儀、と
如、く、入、橋、し、け、橋、は、さ、る、ふ、又、の、裏
送、不、遇、不、橋、瓜、止、く、橋、上、と、五、と、
珠、を、り、く、む、れ、は、又、清、約、勿、名、様、を
と、清、花、流、と、ら、く、く、収、ひ、お、り、也

月見橋

堀川の菊生強也橋と
是より東の瓜屋の
修良更科院と云ふ所なり
号人月見橋と稱す

夷橋

東の法水寺田村寺
ありし橋と云ふ
三寧坂の東の井深よかふ橋
と長嘯橋と云

安坂橋

葛井坂川河村の東
にありし古法水寺
の寺更更なる赤梅壇の香火敷と云
善法大流路とて伝説に毒は下りて
容過されしとて安坂の橋と云

波月橋

日影橋殿と云ふ寺法
橋寺の同なる二所
橋と云ふは梅寺橋とも云ふ川原一
る所なりしを波月と云ふは
想圓院の橋と云ふは月見橋と云

款詰橋

天龍寺の赤井川乃
流且不動の橋なり
西行法師の玉瓜通のゆへに附寺と云ふ
款詰と云ふは橋を敷育と云ふ西行の
名に依りしなりと云ふとて初め
の橋と云ふ教本ありし也

清泚橋

清泚村のありし橋
後にもありし

唐橋

唐橋村のありし橋
此古き橋を京に入附
は橋の多くは鹽館と云ふありし
橋と云ふは今も吉祥院村のありし
二水記にありしなり

定治橋

定治川を長治二年
幅四間と云ふ文化二年
道昭和尚より造る橋の橋の技業

畧紀とてり 辺津郡名所園舎小
のりつと

檀川橋 六塘所の中とて河右
の大和街をわたりて金

が通りをたゞ流るる橋を廻り

淀大橋 長百三十七間幅四
間二寸五厘所より

が舟運より申酉ふ海に橋

秀吉とてり瓜掛り

河小橋 後河とてり流巽は本
河川にわたり流川にひ

ゆるんの流は流合し橋をわたり

長七十七間半一人の舟中より

は橋を南より城郭道更の時秀吉

と古の橋はわたりてり瓜南と

孫橋 後河の中より大橋
すしとの中をわたり

長廿九間八尺中より二人二寸五分

豊後橋 本名桂橋を後河
と長百四間半中より

子秀吉とてり小掛も橋の乾小別不

を後守亭宅あり瓜北とてり人又

把後橋のわたり把後寺清正の宅あり

瓜とてり毛利橋河渡橋とてり

小枝橋 上河の南八丁小枝村
よははまより河渡橋

長四十二間半より南流る瓜東橋の下

高橋 八丁とてり瓜河に掛り
瓜橋と長十三間半一人

中より三人の安原橋の南の橋とて

細橋 甲の瓜あり八まん瓜を
三休新向ありしあり

瓜の布とてり瓜の瓜を瓜の南

瓜とてり瓜の瓜の瓜を瓜の南

極楽橋

法西下之裏、西金院の
東南極楽寺の西街を
中より古侍賢門院に橋と申す、
と此を流し、末達の辨と申す、
此の橋、まゝ申すに化けぬ、

名取寺之部

大貴寺

名取郡野村の南、
有又野村と申す、

青雲延徳所、毘沙門乃呪、
大地と伝へ、いふに、
とん毎、六月廿日に、
大地と伝へ、日、

雁鳥寺

名取郡西野村の西に
あり、

阿波寺

名取郡の法、
あり、

桑の地、又桑田口の南、
と申す、

三の寺

月影寺、
大洞寺、

小松寺

名取郡、
夫木、

れたりの、
小麻の、

大徳寺

名取郡、
山の頂、

南野寺

日影、
あり、

三の寺

紅、
古、

後、
修、

今本家
宇治郡光通寺
の事あり今、
此の

今本家
久世久末村の事あり
此の

鳩の字
一名香が字
相多那抄の事あり
此の

名谷部
紀伊郡津草瓦所の事
あり古今集の文を
採りて此の部

霞谷
依水城の事あり
此の

霧谷
依水城の事あり
此の

梅谷
依水城の事あり
此の

大亀谷
依水城の事あり
此の

羅刹谷
依水城の事あり
此の

小松溪
依水城の事あり
此の

依水城の事あり
此の

瀧谷

日於清水湫のトより
之稱、ゆゑ之一名昔某
藏ゆゑ之又之目録とも云りト云
其之キ紀之見之り

菊溪

日於高臺寺の瀧白
之出嶺の地なり溪
ハキコト云々其ノ中ニ生足ハ其ノ中ニ云

大谷

日於葛院の地なり
大谷キコト云々本村其の
臺所と大谷と云々は是地也又
清水の西ニ云々云々云々流の地と
云々云々云々

鹿谷

日於鹿谷村ト云々
ハ云々云々院百々寺
津七律院あり云々云々の地也
諸谷合流
日於新太郎言成親平判官直頼其

業平谷

日於業平谷ト云々
業平女は云々云々
ハ云々云々
會合して平家滅びハ云々云々

白泉谷

日於白泉谷ト云々
ハ云々云々
ハ云々云々
ハ云々云々

櫻谷

日於山田村のト云々
ハ云々云々
ハ云々云々
ハ云々云々

柳谷

日於柳谷ト云々
ハ云々云々
ハ云々云々
ハ云々云々

津土谷

日於津土谷ト云々
ハ云々云々
ハ云々云々
ハ云々云々

長坂

日野坂より下りて
長坂の界なり

雲母坂

月比叡山西坂平
乃らなり

奈良坂

日枝川より坂を下
る路と云春日明神

新向の地

八坂

月形八坂の里まき
原より清水坂までの

惣々之其中ハハの坂あり紙園坂
下河原坂長樂寺坂 雲母坂

法観寺坂 山井坂 清水坂 産寧
坂 あり合て八坂と云

比丘尾坂

日栗田口津明より
一丁目の小坂なり

長刀坂

高野新産坂の池に向
西よりなる云云又云

谷より麻子谷の池あり

禪師坂 松尾坂 大坂

右の二も西坂本にあり

警坂

宇治田原のあり
ありの大和街をく

瓦坂

北見新街系を村
の東よりなる云云

兼王坂

降坂より大坂と云
ありあり

岡之部

神楽岡

美濃郡吉田村に有
大照王を伴ふの岡なり

おかれしや時八百長の移りて
新街の東より其下流をく
よりなる。明皇水ありけり
日本最上神祇齋場と云

八鹽岡

日影丸園村の北有
新勅撰集巻存先

紅のふしやれるものよりし葉を
いふ海にこそたてくまらん

舟岡

此岡の西あり舟の
舟は似たりとて寄く

圓融院後よりういて後舟をよま日
志のひしとを應仁年中はあはれを

雙岡

高野原に和寺の南
あり寺は西あり一

二二と岡相並より天長九年九月
双ふふ花備あり風推集よ

秋のさうせくゆりありとる

衣笠岡

日影丸安寺村の北
あり堀川西を降付

たつたふしきとてぬらとる白

衣のふしきとてぬらとる白

檀岡

日影丸寺剎院村の
あり

日れ岡

宇治日の名村の南
後古今集よ

くくきりすのまけ系物うま
入りのとくふきとてぬらとる

石田岡

日影丸田村の北
集を匡房のあり

西の岡

乙列の地とて
すま堀川より西を系

鞠岡

日影丸村梁屋岡の北
西をこの地とて

斗屋岡

久世丸の北あり
田年庵の北あり

不相身と井屋の事ありては

名をたにまぬるもさうに

區毘圖 伊勢郡飯沼村有

又馬吹山又湯の事

ともしよ万葉集に見えり

箇城圖 日取や死村より水

白河取七百首小史後

相子取と相村あり

流圖 日取西の海の

時伊勢より村本流る

揚子のうし良辨信那

思ふ所とて用ひ小まの城本事
と流る所を表流と止むけは
名あり又一つの思ふ所流るは
飯沼と云

伊之部

八坂置 是名那八坂置

のれまをいひては

八坂置 見系親王

背と作親王

てこと又寛風

あり

大系里

八洲の里一里あり

りぬる言好ましくなる炭竈乃
焼もほひ大系里 武子内親王

炭竈里

日大系乃こほり
炭と焼出古今集

桐くくくぬ炭くすのら
日草生村の南あり

芥生里

此名芥生田と云今

大系乃芥生れその乃あけ
日草生村の南あり

桂里

日草生村の南あり
後後撰集を法苑

日草生村の南あり
日草生村の南あり

日草生村の南あり
日草生村の南あり

山田里

日草生村の南あり

日草生村の南あり
日草生村の南あり

葉里

日草生村の南あり

日草生村の南あり
日草生村の南あり

日草生村

日草生村の南あり

日草生村の南あり
日草生村の南あり

今里

日草生村の南あり

日草生村の南あり
日草生村の南あり

久世里

日草生村の南あり

日草生村の南あり
日草生村の南あり

鳥羽里

日守家の南あり
ともつとも南小

一里ぐらり 隔

高塚寺あり
相多致物有るあり

井小里

澄林致井小村赤川
あり賜一子親王より

箕里

日守内里村あり
石比集

免道里

音羽里

日守ありは地名多し
於後撰集
於あつ成りしに
らも川
とんのりこや
たそそりしん

本情里

日守本情村あり
石比集

体お里

日守致体あり
後拾遺 福後編

市田里

市田の西あり
石比集

深州里

日守の東はあり
けあ名ふる古

鷲の原 市の東にあり
又城跡は深寺
の東に深草の里
今八町と云
お念と他
其の氏と深草と云
と云ん
小栗栖里
送破る田の西あり
石比集と城を修え

味よく知つた者明智紙と云ふは
合紙の時先妻の紙と云ふと
引こや名紙の紙氏也云々の
可一云ありと云

本林之部

鷺馬森

老名紙修善院村に
あり拾五集

以良本社
以良の山をこてとていふ
言れと云ふと云々の森あり

以良本社

日部一寺村の西
やありけふと以良本の

舟院森

老のり今と老紙社内はつた
日と老紙社家所の西
南あり奇はま本集

河祖森

日と老紙社と云
ぬ社百首は後成

いふくと云のふとと流るる水

川をたれ社よありふらつた

紅森

下野茂川合の社乃
地をたり

山形森

西野茂川上村の良
ありりあり一町集

衣子森

老のり今と老紙社
老南ありは後成

と紙の山をこてとていふ
言れと云ふと云々の森あり

柘の森

老のり今と老紙社
老南ありは後成

新之庄大納言の森の森
老のり今と老紙社

聖護院森

川を渡院つたの西
南ありは後成

結の森

下野茂川ありは後成
新改社ありは後成

杉く内重く死ししと云
新羅森 日所より

荳の森 四条之末の西更森也
あり中將家方相伝

其又森と云くけしと云く神と云
其又森と云くけしと云く神と云

藤森 賀茂川又東橋の南
あり河内院の西院

福大明神森 壬生通六条の北より

羽東所森 乙洲新志水村より
後撰集より

身と云くけしと云く神と云
身と云くけしと云く神と云

久我杜 日部下久我村より
奇夫小集より

藤の杜 紀伊那波美より
新立集より

貴布祿社 日部横志水村の南
あり内社あり

城前社 日部中志水村より
森の内社あり

石田杜 宇治那志水村より
万葉集より 宇合

美豆森 後撰集より
後撰集より

柏森 相部那志水村より
万葉集より 奇の森

衣の所 言田川ささり 後撰集
もろくもそれうりの所とてふ
うろくもろくもそれうりの所とてふ
人書森 日輪はま村あり

野之部

紫野 活おの野く想多々
正暦十四年十月

大望 日主徳寺の地是之
聖徳太子の御記

蓮花堂 聖徳太子の御記
蓮花堂あり

燕望 聖徳太子の御記
聖徳太子の御記

小野 小野の西一条の小野
年中天皇は小野に
幸すくちか見のつる古記とて
平野といはれ西より四姓の氏林系
近末禰と多植く 郊の花を禰と云
是より小野と云ふ七世の事あり
おれのやあり又五世
柳野あり

肉望 西の東にあり又六世
玉城よりあり 明徳二年

陶望 聖徳太子の御記
聖徳太子の御記

これのつるつるささり梅うまの
林ふまめありまのつる
あり林ふまめありまのつる
けさつるつるささり梅うまの

精舎 日影と云ふ村あり
此の地より南と云ふ

栗栖堂 日影と云ふ村あり
村の南と云ふ新撰古伝

ゆめゆめと云ふの地あり
ゆめゆめと云ふ地あり

此の地は元明神と云ふ地あり
の河邊よりと云ふ地あり
法を承けし所の地あり
持を承けし所の地あり
本を承けし所の地あり

日影稲荷社は元明神と云ふ地あり
四年二月五日定例
此の地の白狐林あり
此の地の稲荷堂あり
此の地の稲荷堂あり

あともいふと云ふ地あり

人の住むと云ふ地あり
此の地の稲荷堂あり
此の地の稲荷堂あり

此の地の稲荷堂あり
此の地の稲荷堂あり
此の地の稲荷堂あり

山科堂 日影と云ふ村あり
と云ふ地あり

天智天皇八年五月と云ふ地あり
此の地の稲荷堂あり

河原堂 日影と云ふ村あり
と云ふ地あり

天智天皇と云ふ地あり
此の地の稲荷堂あり
此の地の稲荷堂あり

小堂 日影と云ふ村あり
と云ふ地あり

少くも小浜津とてうききく

橋尾 口秋津屋山と寺
ま言に新たり

杉尾 口秋津屋山の里にお
く杉屋社氏事向うま

将尾 細長秋八岐ふの平
社の西に将尾神社あり

長尾 宇治秋下、磯磯
ふも尾天社あり

牛尾 牛尾秋寺 堀川西に竹屋を
まふうたけしのでよ入る人も

牛尾 牛尾秋寺 堀川西に竹屋を
まふうたけしのでよ入る人も

牛尾 牛尾秋寺 堀川西に竹屋を
まふうたけしのでよ入る人も

崎之部

松ヶ崎 中受秋松とて村
堀川西有る

園崎 口秋園崎村上中下の
と八正各光の寺あり

園崎 口秋園崎村上中下の
と八正各光の寺あり

園崎 口秋園崎村上中下の
と八正各光の寺あり

園崎 口秋園崎村上中下の
と八正各光の寺あり

橋中崎 宇治秋橋中崎のま
ありと古今集

橋中崎 宇治秋橋中崎のま
ありと古今集

橋中崎 宇治秋橋中崎のま
ありと古今集

橋中崎 宇治秋橋中崎のま
ありと古今集

鳩之部

久世新橋を西村者
宇治年名虎の中古

宇治の川崎より今八幡分家
新甲と云り金屋集家

宇治川の河原もこゝぬ
牛さきれ人々のとよ

夷島
根の橋乃西のあり
夫に集

あゝぬれ八十氏川の
流るる水のくけくも

梅鳩
宇治年名虎の
あり

楊枝鳩
紀伊新橋中橋の南
あり中々相あり

中書鳩
新橋の西に年
天の社と云

驛之部

三條驛
鳥丸三系と所
場の中あり

櫻系驛
首の驛新橋系村
あり

乙新那と橋村
延長或は目と

伏見驛
久世新長比村

玉水驛
綴表那井出村

岡田驛
相系那小村

大河系驛
口新大河系村

笠置驛
口新小笠置村

本津驛 日知本津に在り

渡口之部

山田渡 高野原上山田村の
東より

桂の渡 日知下桂村の東
より

狐の渡 乙訓郡山崎の東流
川に有流へ別流川の

南一河の別名は渡山橋よりハ
岐のび河月るる事狐川の渡と云

久我渡 日部桂川より

訓世渡 日新より

封戸渡 久世郡村戸村生津
村と本所川に渡と云

権現渡 日知本所村と云或云
本所渡と云本所川

と云云河より水の上より

橋中渡 日知橋本村より

榊舟渡 日知本所村と云本所川
の渡と云

草畑渡 相系郡笠笠村
より

加茂渡 日知瓶本と云本所川
の川に通ふ所と云

日知郡本所村と云本所川の
南に渡あり坂と云日知一里月川と云長ハ
釜と云此を流有市と云釜釜五八平
丁斗を長保製界と云南ハ古ある渡
して天蓋の如く也と云る村氏あり
あると云地境方と云

法善寺渡 日知法善寺
あり

本津渡

同本津のたふあり
上左の息橋寺の南

一町に橋ありけし水原の今の橋より二里
たより巽に苑を橋あり市の南村を原
足と城修安の里より其西へ西へ山
をくく流るる水ありきまの西へ山
あり其中より日川の別名は布川あり
川幅狭くして二里あり二里あり斗
るふのりり谷通るる新布と川は
がくくあり布川と云

敷渡

日新津田村を以て
吾亦本津川に渡ると

三太橋

宇治橋

山城宇治川流後ス

淀大橋

山城本津川流後ス

勢田橋

山城御水に後ス

見多日本後紀

五関

宇治橋

宇治那あり

大糸道

北定那あり

大枝道

乙訓那あり

山崎橋

日新那あり

京都七口

五條口

三條口 今出川口

出雲寺口

蓮臺寺口

七條口

東寺口

七瀬

川合

耳敏川

松ヶ崎川

東滝

大井川

西滝

ハズ通一葉より水と流るる
まより雨の水と流るる
ナカ川
石新上流

五三昧

阿弥陀峯 船岡山 鳥部山
西院 竹田イ中山

五岳

如意宝山 山城鹿ヶ谷上
比叡山 山州江州ノ境玉城ノ良
愛宕山 皇城ノ乾
金剛宝山 大和国
高子穗峯 日向国

林下裏御所花園十景 修学院村

菩提樹 下ノ御茶屋 壽月觀 同上
藏六菴 同上 彎曲欄 田ノ内ニ
洗詩堂 上御茶屋 窮遠軒 同上
止止齋 同上 石ノハシリ御建物ナシ
浴龍池 土居ノ東ノ池ナリ

万松塙 中嶋ナリ中ニ四方四面ノ松アリ

洛陽八景

祇園夜雨 清水秋月 知息晚鐘
淀河帰帆 鴨埭晴嵐 五橋夕照
比叡暮雪 鳥羽落雁

大佛御殿 瑞鳥樓十二景

陔峯彩霞 平林春花 青田乱蛙
喬上啼鶻 西山夏雲 曲塙秋草
芽檐明月 虹橋丹楓 曉園積雪
翠池浮鴨 蕭寺清鐘 竹窓夜雨

枳敷御殿 漫成園十四勝

印月池 双梅簷 漱枕居
縮遠亭 五松塙 侵雪橋
迴棹廊 紫藤岸 丹楓溪
卧龍堂 傍花閣 偶仙樓

園林堂 滴翠軒

洛西八景

愛宕山 大堰川 仁和寺

釈迦堂 渡月橋 時雨亭

松尾祠 梅津里

同嵯峨八景

嵯野春草 龜峰綠樹 廣沢秋月

小倉紅楓 野宮松風 岩嶺積雪

洪川水鳥 清涼晚鐘

北野八景

聖廟經藏 綠松紅梅

佛院馬埒 華表浮圖

安養寺八景

天王祠 將軍塚 北斗堂

西行庵 芳水井 菊溪流

華頂山 長樂寺

修學院八景

村路晴嵐 修學晚鐘 遠岫歸樵

松崎夕照 茅檐秋月 平田落戶

隣雲夜雨 叢峰暮雪

城北市原山八景

手月磧 朽斧松 巖牆水

北内峯 流六溪 沈密科

枕流洞 飛鳥潭

箱石荷山八景

三峯春眺 浮橋夜月 惠日曉鐘

草墊晚霞 雷巖暮雨 瀑布餘音

前溪紅楓 西山雪霽

東山泉涌寺八景

愛嶺堆雪 鴨川長流 圓通孤月

熊村淡烟 龜山落日 惠日幽鐘

音羽間雲 羅刹殘雨

洛陽十景

清水佛閣 知息鐘聲 鞍馬古樹
緇廟紅葉 東山秋月 天台晴雪
獅谷群鷺 宕岩片雲 山階夕照
鳥堊古松

東山十景

天台積雪 如意秋月 紫雲高塔
瑞龍晚鐘 岩倉暝樵 暖湖孤雲
花頂積翠 祇園晚鴉 清水白櫻
熊林松濤

清水十景

古崖懸泉 春嶽開花 音羽曼翠
芙蓉踈鐘 洛陽万户 鴨川一帶
東郊烟雨 西門遠眺 宕嶺晴雪
龜阜暮靄

紫雲山十景

紫雲万松 台嶽彩霞 神岡躑躅
鴨森夏雨 獅谷夜月 石川寒流

松崎翠嵐 岡崎深烟 禪林幽鐘
白川樵歌

愛宕十景

愛頂層樓 洛城春霞 龜山夏雲
高雄丹楓 敷峯晴雪 桂川長流
清滝寒月 廣沢暮雨 水尾朝烟
月輪松濤

暖湖十景

竺峰紅葉 炭山桮梅 本宮深邃
丈品傑觀 西嶽秋月 真谷夜雨
南谿夜雪 橫峰掃樵 石間采蕨
寂谷觀花

十境

南禪寺十境

歸雲洞 獨秀峯 羊角峰
奉訖池 曇花堂 鎖春亭
蘿月菴 緩戶廟 愈好亭
蘆葦林

天龍寺十境

普明閣 絕唱谿 靈庇廟

曹源池 枯花嶺 度月橋

三級巖 石松洞 龜門亭

龜頂塔

相國寺十境

般若林 妙藏巖域 圓通閣

洪音樓 覺星室殿 龜測水

功德池 天界橋 護國廟

悅聖堂

東福寺十境

妙雲閣 選佛場 湖音堂

抽檀林 思遠池 成就宮

通天橋 千松林 甘露井

洗玉硯

萬壽寺十境

十地超閣 大雄室殿 三山神廟

千松客徑 枯木回春 新花更雨

東軒 南院 琴臺

鏡沼

建仁寺十境

慈視閣 望闕樓 大悟堂

群玉林 入定塔 樂神廟

無盡燈 清水山 第五橋

鴨川水

大德寺十境

達磨峰 瑞雲行 看雲行

金剛軒 古岩松 起龜行

官池 梅橋 雲門菴

明月橋

妙心寺十境

萬歲山 拈華室 度香橋

百花洞 宇多川 旧藉田

南華塔 有宮社 鷄足嶺

高安灘

十二景

城北水室十二景

自寬峽 攀月巔 雲窩溪
落猿岩 眠雲峯 溇湖山
憂球難 眼涼坂 霧梅島
浴月沼 藏水古跡 凌陰山

禪林十二景

聖眾松 悲田梅 黃鸞瀑
通天橋 卧竜樓 礙雲閣
烟漏窩 凝時樓 白蓮池
幽樵蹊 濯錦泉 紫雲扉

八幡十二景

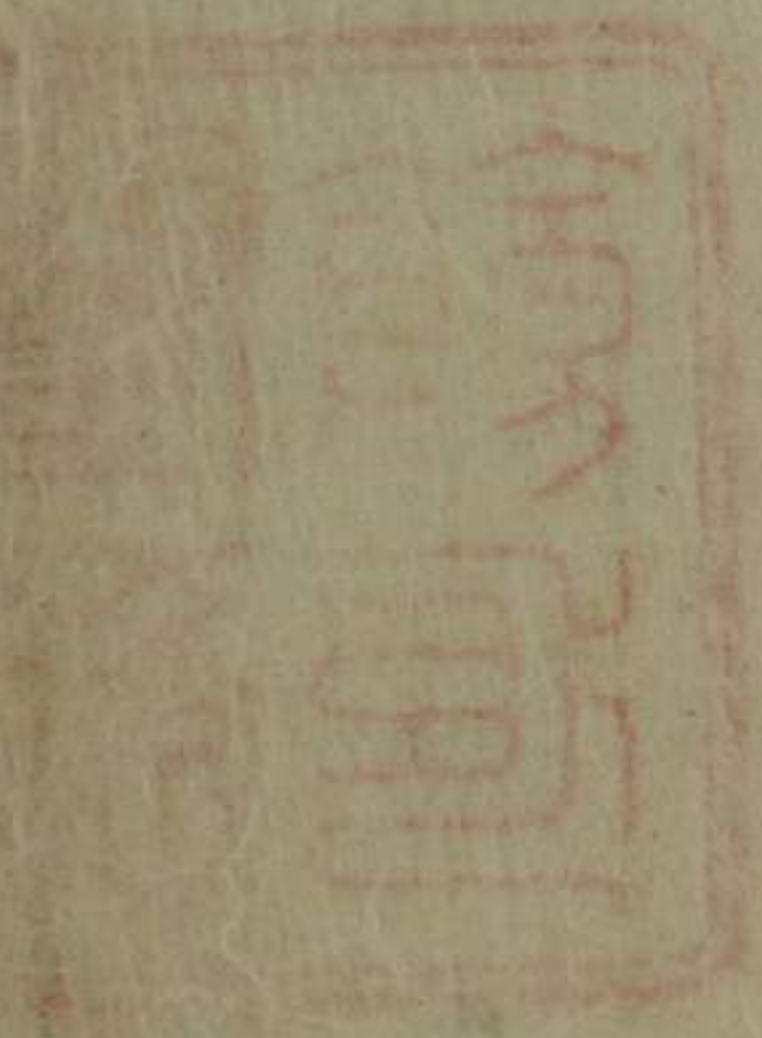
德山灵社 洛城瑞霞 石水清涼
醍醐零月 天台積雪 淀橋斜照
孤川征帆 伏沢落丁 難波滄浪
山崎曉鐘 嵯峨暮烟 朝山暗嵐

宇治十二景

春岸除磔 清湍螢火 三空紅楓
長橋曉雪 朝日靄暉 薄暮紫舟

橋姬水社 釣殿夜月 扇芝孤松
槇島瀑布 浮船古祠 興聖晚鐘

文久三癸亥



花洛羽津根卷八終

文久三癸亥歲



製本所

東洞院上珠敷屋町上

御藏版所

閩教館

